

事務事業名		大船渡市林業構造改善事業促進対策協議会運営事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業							
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和51 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		予算科目							
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興					会計	款	項	目	事業			
	基本事業名	03 林業の振興					01	06	02	01	01			
根拠法令														
所属	部課名	農林水産部農林課												
	係名	林業係	電話	27-3111										
			内線	7126										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
<p>・大船渡市林業構造改善事業促進対策協議会(以下「協議会」という。)を開催し、市長の諮問機関として林業構造改善事業促進に関する総合策や、事業計画の策定、事業実施のための重要事項等について、調査・審議・現地協議を行う。</p> <p>・協議会は、森林組合その他農林業関係団体の代表者、林業従事者の代表者、知識経験者による委員14名で構成され、任期は2年である。</p> <p>主な業務内容</p> <p>①委員の委嘱、②諮問事項の設定、③開催日の調整、④開催通知、⑤会議資料の作成、⑥協議会の運営、⑦会議報告書の作成、⑧報酬等の支払い</p> <p>事業費として、出席委員への日額報酬と費用弁償を支払う。</p>							総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金					
								財源内訳	都道府県支出金					
									地方債					
									その他					
									一般財源					
人件費	事業費計(A)			0										
	正規職員従事人数													
	延べ業務時間													
	人件費計(B)			0										
	トータルコスト(A)+(B)			0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標								
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 大船渡市林業構造改善事業促進対策協議会を開催し、平成23年度林業事業の実績報告を行うとともに、平成24年度林業事業について協議した。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 協議会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 協議会開催回数	回	イ		ウ
名称	単位							
ア 協議会開催回数	回							
イ								
ウ								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市の林業構造改善事業等に関する議案。	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)							
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 議案の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 議案の数	件	キ		ク
名称	単位							
カ 議案の数	件							
キ								
ク								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 議案を承認してもらおう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)							
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 承認された議案の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 承認された議案の数	件	シ		ス
名称	単位							
サ 承認された議案の数	件							
シ								
ス								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して林業を営む。								

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																			
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="7">単位</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>64</td> <td>40</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>64</td> <td>40</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>264</td> <td>240</td> <td>255</td> <td>255</td> <td>255</td> <td>255</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		事業費	年度	単位							23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	64	40	55	55	55	55	事業費計(A)	千円	64	40	55	55	55	55	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50	人件費計(B)	千円	200	200	200	200	200	200	トータルコスト(A)+(B)	千円	264	240	255	255	255	255	⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	イ							ウ							⑥対象指標	カ	件	1	1	1	1	2	1	キ							ク							⑦成果指標	サ	件	1	1	1	1	2	1	シ							ス						
事業費	年度			単位																																																																																																																																																															
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																												
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																	
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																	
	地方債	千円																																																																																																																																																																	
	その他	千円																																																																																																																																																																	
	一般財源	千円	64	40	55	55	55	55																																																																																																																																																											
	事業費計(A)	千円	64	40	55	55	55	55																																																																																																																																																											
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50																																																																																																																																																											
	人件費計(B)	千円	200	200	200	200	200	200																																																																																																																																																											
	トータルコスト(A)+(B)	千円	264	240	255	255	255	255																																																																																																																																																											
⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																											
	イ																																																																																																																																																																		
	ウ																																																																																																																																																																		
⑥対象指標	カ	件	1	1	1	1	2	1																																																																																																																																																											
	キ																																																																																																																																																																		
	ク																																																																																																																																																																		
⑦成果指標	サ	件	1	1	1	1	2	1																																																																																																																																																											
	シ																																																																																																																																																																		
	ス																																																																																																																																																																		

事務事業ID	0543	事務事業名	大船渡市林業構造改善事業促進対策協議会運営事業
--------	------	-------	-------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	林業構造改善事業を促進するため、昭和51年に林業関係者や知識経験者等で組織する大船渡市林業構造改善事業促進対策協議会が設置された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	森林は二酸化炭素を吸収し、地球温暖化防止に貢献するとして、森林に対する国民の期待が高まってきている反面、林業を取り巻く情勢は、木材価格の長期低迷により、森林所有者の山林整備に対する意欲の低下や林業就労者の減少・高齢化等が進み、森林整備の遅れが懸念される状況にある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	協議会委員からは、諮問事項がなくても最低年1回は開催するよう要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 協議会の開催により市の林業構造の改善に関する事項について委員の共通認識が図られるとともに、林業の活性化と地域材の長期的かつ安定的な供給体制の整備が可能となることから、市の林業振興につながる事業である。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市の林業振興を、行政機関だけで方向付けるのではなく、関係機関・団体・従事者を交えて協議してもらうため、出席した協議会委員に報酬を払うのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 本事業により、市の林業振興に必要な議案について承認を得ることになるので、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 諮問した議案はすべて承認されており、これ以上向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市の林業振興に関する計画等を関係機関・団体・従事者等で協議する場が失われる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 現在、市の林業振興に関して協議する組織は、本協議会だけである。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 報酬および費用弁償は市の規定に基づいて支出している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 協議会開催に係る一連の事務作業について効率的に執行しており、これ以上の業務時間の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者負担は発生しない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">① 目的妥当性</td> <td style="width:10%;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:10%;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 開催時期、内容ともに適切であった。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 関係機関・団体・生産者を交えて協議することでより実効性の高い計画策定が可能となることから、今後も現状を維持していく必要がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	
-------	------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">① 目的妥当性</td> <td style="width:10%;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:10%;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 本来であれば年度早々に開催しなければならない。震災対応を優先させたとはいえ、開催が平成24年1月24日と遅かった。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 遅くとも第一四半期に協議会を開催するように努める。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項	
---------------------	--